

【実践事例五】

《第三・四学年》

領域「国語」

理由を明確にしながら事実を伝えるために

言語活動

「カマキリのひみつ」について新聞記事を書く。

1 学習材

『カマキリのひみつ』について新聞記事を書こう

(学力診断第三・四学年 問題文)

2 ねらい

○ 理由を明確にしながら「カマキリのひみつ」について、新聞記事を書くことができる。

3 学習活動の流れ

- 一 学習の見通しをもつ。
- 二 理由を示しながら情報を伝えることの大切さについて考える。
- 三 カマキリのオスとメスの同じところと違うところに線を引く。
- 四 新聞記事で伝えたいことを選ぶ。
- 五 新聞記事を書き、推敲する。
- 六 新聞記事を完成させる。

4 学習活動の実際

一 学習の見通しをもつ。

はじめに、学習シート①を活用し、学習の流れを確認した。そして、「カマキリのとくちょうとその理由」のメモを基に理由を明確にしながら新聞記事を書くという課題を理解してから、実際に書く活動へと移っていった。

二 理由を示しながら情報を伝えることの大切さについて考える。

学習シート②を活用し、事実のみを書いているモデル文と事実とその理由を書いているモデル文の二つを読み比べ、気付いたことを出し合った。

すると、理由を書いてある文章の方がより詳しく分かるという意見が出てきた。そこで、その意見を基に理由を示す言葉に○を付けながらモデル文を読み直してみた。【資料①】このようにして、理由を示しながら情報を伝えることの大切さに気付くことができた。

三 カマキリのオスとメスの同じところと違うところに線を引く。

「カマキリのとくちょうとその理由」のメモを確認し、カマキリのオスとメスの同じところには赤で、違うところには青で線を引いた。このようにして共通点や相違点に着目しながら整理することは、情報を再構築する際の一助となった。

また、理由を表す言葉「ため」に○を付けたことで、理由を示しながら情報を伝えることにつなげることができた。

四 新聞記事で伝えたいことを選ぶ。

カマキリのオスとメスの同じところと違うところのどちらを新聞記事で伝えたいのか選んだ。さらに、選んだ事柄を伝えるためには、赤・青で線を引いたどちらの情報を取り出す必要があるのかを考えた。そうすることで、必要な情報を資料から正しく取り出すことにつなげることができた。

カマキリのひみつ

○ カマキリのメスは、おなかにたまごをたくさん持っているため、おなかが大きくておもいです。また、体がおもいため、とぶことが少ないです。ほかにも、前あしにとげがはえています。それは、とらえた虫をにがさないためです。

【資料①】理由に○を付けたモデル文

<ul style="list-style-type: none"> ・おなかが大きくておもい。 →おなかにたまごをたくさん持っているため ・とぶことが少ない。 →体が重いため ・前あしにとげがはえている。 →とらえた虫をにがさないため ・体の色は緑色や茶色。 →てきに見つからないようにするため 	<ul style="list-style-type: none"> ・体が小さくて細い。 →動きやすくなるため ・よくとぶ。 →メスをさがすため ・前あしにとげがはえている。 →とらえた虫をにがさないため ・体の色は緑色や茶色。 →てきに見つからないようにするため
--	---

【資料②】

線や○を付けた「カマキリのとくちょうとその理由」

五 新聞記事を書き、推敲する。

メモを基に新聞記事を書いた。必要な情報を整理したことで、自分の伝えたい事柄に必要な情報を適切に取り出しながら新聞記事を書くことができた。また、特徴を二つ書きたい児童は、「同じところが二つあります。一つ目は……。二つ目は……。」と相手に分かりやすく伝えるように表現を工夫している児童もいた。

書いた後、「すいこうチェックシート」【資料③】を活用し、個人やグループで相手に伝わる文章になっているか推敲した。「すいこうチェックシート」を活用したことで、どのような視点で推敲していくのが分かりやすくなった。また、推敲を通してお互いの新聞記事を読み合ったことで書いた文章が相手に伝わっているかどうかを確認し合うだけでなく、友達の手紙の書いた文章の表現のよさに気付くこともできた。【資料④】

六 新聞記事を完成させる。

学習シート③を活用し、新聞記事を完成させた。その際、推敲したことを生かしながら新聞記事を書くことができた。

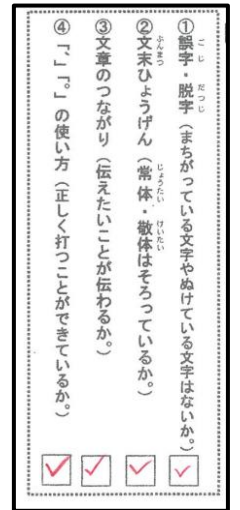
完成した新聞記事を「カマキリのひみつ新聞」にまとめた。新聞記事を読み合うことで、書きぶりの違いや表現の違いなどに気付く児童もいた。【資料⑤】

5 取組を終えて

はじめに、「カマキリのひみつ新聞」を作成することを伝えておくことで、新聞記事を書く活動に興味をもって取り組むことができた。そして、どのようにすれば相手に分かりやすく伝わるのかなど相手意識をもって新聞記事を書くことにつながった。

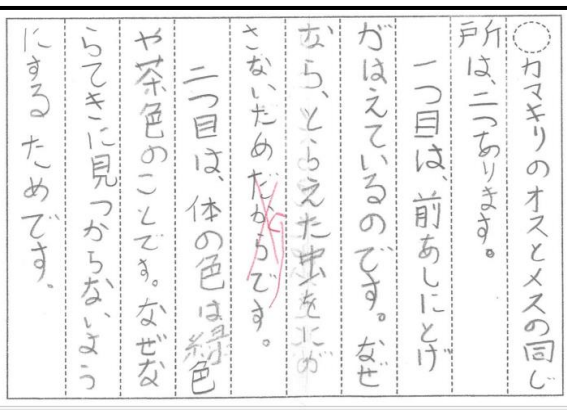
また、情報の共通点や相違点に線を引いたり、理由を示す言葉に○を付けたりして整理することで、自分の伝えたい事柄に合う情報を収集する一助となった。このように、情報の取り出し方を丁寧におさえていくことは情報を再構築するために大切であると実感した。

さらに、個人やグループで推敲したことにより、理由を示しながら書くことができているか、相手に伝わる文章を書くことができているかなど、新聞記事を書く際に必要な力を身に付けることにつながった。このように、事実を明確に伝えるためにも推敲することを大切に、今後も継続して取り組んでいきたい。

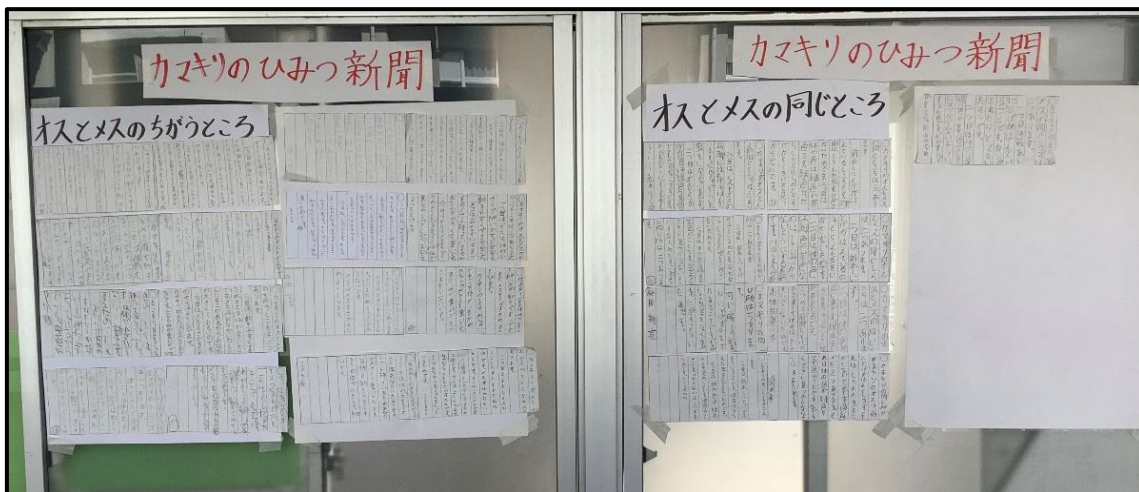
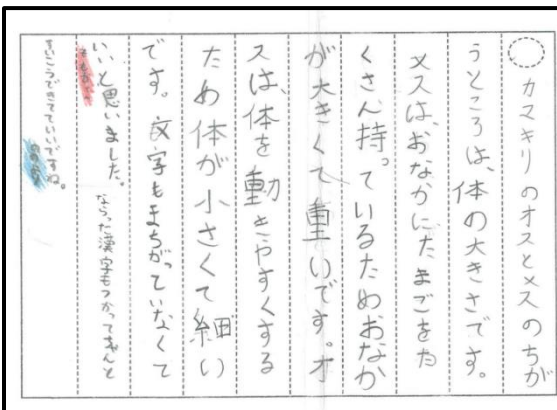


【資料③】

「すいこうチェックシート」



【資料④】 推敲し合った新聞記事



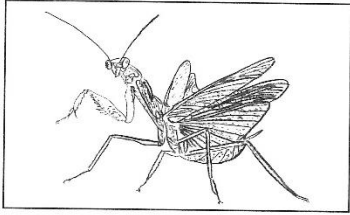
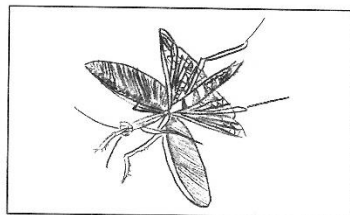
【資料⑤】 カマキリのひみつ新聞

学習の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②理由をしめしながらじょうほうを伝えることの大切さについて考える。
- ③カマキリのオスとメスとの同じところとちがうところに線を引く。
- ④新聞記事で伝えたいことをえらぶ。
- ⑤新聞記事を書き、個人やグループですいこうする。
- ⑥新聞記事を完成する。

一 学習シート②の記事を読んで、気づいたことを話し合おう。

カマキリのとくちょうとその理由

<p style="text-align: center;"><カマキリのメス></p>  <ul style="list-style-type: none"> • おなかが大きくておもい。 →おなかにたまごをたくさん持っているため • とぶことが少ない。 →体が重いため • 前あしにとげがはえている。 →とらえた虫をにがさないため • 体の色は緑色や茶色。 →てきに見つからないようにするため 	<p style="text-align: center;"><カマキリのオス></p>  <ul style="list-style-type: none"> • 体が小さくて細い。 →動きやすくするため • よくとぶ。 →メスをさがすため • 前あしにとげがはえている。 →とらえた虫をにがさないため • 体の色は緑色や茶色。 →てきに見つからないようにするため
---	--

六 四でえらんだことについて、カマキリのとくちょうとその理由が分かるように、新聞記事を書きましょう。

○

七 個人やグループで新聞記事をすいこうしよう。

- ①誤字・脱字 (まちがっている文字やぬけている文字はないか。)
 - ②文末ひょうげん (常体・敬体はそろっているか。)
 - ③文章のつながり (伝えたいことが伝わるか。)
 - ④「、」「。」「」の使い方 (正しく打つことができているか。)
-

五 自分に必要なじょうほうは赤と青のどちらですか。
□に書きましょう。

- ①カマキリのオスとメスとの同じところ
- ②カマキリのオスとメスとのちがうところ

四 「カマキリのとくちょうとその理由」のメモを見て、伝えたいことを二つの中から、一つえらび□の中に番号を書きましょう。

三 理由を表す言葉に○をつけましょう。

二 カマキリのオスとメスとの同じところには赤、ちがうところには青の線を引きましょう。

すいこうチエックシート

① 誤字・脱字

② 文末ひょうげん (常体・敬体)

③ 文章のつながり

(伝えたいことが伝わるか)

④ 「、」「。」「」の使い方

(⑤ 習った漢字)

すいこうチエックシート

① 誤字・脱字

② 文末ひょうげん (常体・敬体)

③ 文章のつながり

(伝えたいことが伝わるか)

④ 「、」「。」「」の使い方

(⑤ 習った漢字)

すいこうチエックシート

① 誤字・脱字

② 文末ひょうげん (常体・敬体)

③ 文章のつながり

(伝えたいことが伝わるか)

④ 「、」「。」「」の使い方

(⑤ 習った漢字)

すいこうチエックシート

① 誤字・脱字

② 文末ひょうげん (常体・敬体)

③ 文章のつながり

(伝えたいことが伝わるか)

④ 「、」「。」「」の使い方

(⑤ 習った漢字)